

手賀沼ガシャモク通信

No.10

手賀沼ガシャモク通信再開号

手賀沼水環境保全協議会（手水協）では、平成21年度から水生植物再生活用事業を行っており、その記録として発行していた「手賀沼ガシャモク通信」ですが、平成24年に「手賀沼にガシャモクとマシジミを復活させる会」が解散してから休止していました。
今年度はミニ手賀沼のガシャモクについて広報するために再開しました。

☆ミニ手賀沼にガシャモク植栽

手水協では我孫子市の手賀沼親水広場にあるミニ手賀沼を手賀沼起源の沈水植物が身近に見られる水辺にすることを旨とし、市民の手によりガシャモクを植栽するイベントを実施してきました。

しかし、思うように育成しませんでした。

平成31年度には、手水協事業でアメリカザリガニやコブハクチョウの食害を防止するため、また、県立松戸南高校科学研究部は手賀沼在来の水草を保護しながら自生させ、手賀沼への水草の再生につなげることを目的にそれぞれケージを設置しました。

令和2年度はお天気に恵まれずイベントが中止になりました。令和3年はイベントとして2年ぶりの植栽です。

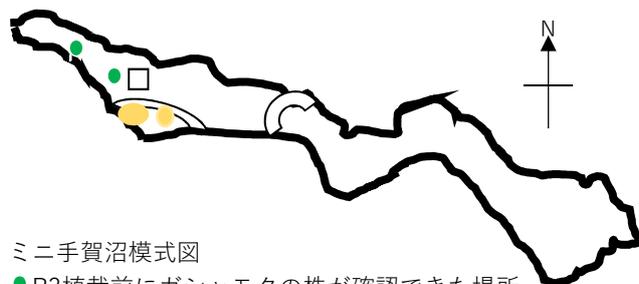
植栽年度	ガシャモク植栽の経緯
平成21,22年度	アメリカザリガニの食害により全滅
平成23,24年度	ナマズ放流。アメリカザリガニが減少したためかササバモ・ガシャモクが繁茂
平成25年度	ポンプの故障、沼の水の氾濫により繁茂していた水草は全滅
平成26年度	植栽したが全滅。コブハクチョウの食害が指摘
平成27年度	防鳥ネット設置
平成29年度	植栽後、防鳥ネット下にホザキノフサモ繁茂
平成30年度	植栽したが、一面にホザキノフサモ繁茂
平成31年度	植栽。一面にホザキノフサモ繁茂、食害防止のためのケージ設置。（松戸南高校もケージ設置）
令和2年度	荒天のためイベント中止

☆植栽ガシャモクが定着！

小さなガシャモクの株が定着していました。

一見、沈水植物は全滅したように見えたミニ手賀沼でしたが、中に入ってみるとガシャモクの株が確認できました。数株でしたが確実に根付いていたんですね。

さらに、比較的広範囲にササバモも見られました。過去に植栽したガシャモクに混ざっていたのか、想像が膨らみます。ササバモはやや水の流れがある場所に繁殖します。ササバモが確認できた場所は水の流れがある場所でした。



ミニ手賀沼模式図

● R3植栽前にガシャモクの株が確認できた場所

● R3植栽前にササバモが確認できた場所

□ 食害防止ケージ

⤵ 橋（植栽した場所は橋のより上流側になります）



植栽前にミニ手賀沼の水位を下げるとササバモがよく見えました。

☆ミニ手賀沼の生物調査と沈水植物植栽イベント

令和3年7月17日。2年ぶりにイベントを行いました。

当日は晴天の中、手賀沼流域にお住いのみなさんが参加してくれました。



いいお天気で暑い日でした。



まずはミニ手賀沼に入って生き物調べです。ミニ手賀沼はイベントのために水位を下げてあります。



どんな生き物がいるのかな？
水に入って網ですくう子、陸から生き物の引き上げを手伝ってくれる子、大人も頑張ります。



採取した生き物を水槽に入れて観察します。みんな興味津々で解説を聞いています。

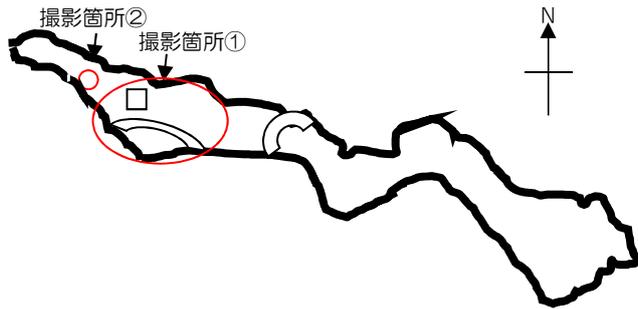


県立松戸南高校科学部が活動報告をしてくれました。紙芝居は生徒さんの手作りです。



ミニ手賀沼にみんなでガシャモクを植えます。大きなあれ！

☆ミニ手賀沼で生育



中央部に大きく広がったガシャモクが見えます。



夕暮れ時で写真は見えにくいけれど、水の中にはガシャモクがたくさん生えています。



葉が黒っぽくなり群落は小さくなりました。下流に千切れたガシャモクの茎がたくさん浮いて溜まっています。水鳥が食べて株を抜いてしまうようです。



小さなガシャモクがミニ手賀沼のあちこちに見えました。



周辺に点在する株も大きくなっています。



たくさん見えますね。



一株も12月より小さくなっています。

春になって新しい芽が伸びて成長することを期待していました。
ところが…！

☆コブハクチョウの食害

令和4年2月7日にはミニ手賀沼にはガシャモクがほとんど見られませんでした。今年度は大きく成長し、春にはまた緑の葉を茂らせてくれるのではと、楽しみにしていたのがっかりです。

原因はコブハクチョウの食害です。2月2日にはコブハクチョウがミニ手賀沼の水中に首を入れて、ガシャモクを食べている写真が撮影されています。

コブハクチョウは本来日本に生息していない外来種で、渡り鳥のハクチョウとは違います。渡りをしない留鳥で、周辺の農作物にも大きな被害を与えています。



撮影者：千葉生態系研究所 浅間茂所長
撮影日：R4.2.2
撮影箇所：①

☆手賀沼のデッキ脇にガシャモク植栽

令和2年7月にデッキ東側に1基、令和3年7月にデッキ西側に1基のゲージを設置し、その中にガシャモクとササバモを植栽しました。令和2年に植栽したデッキ東側のゲージには翌年の令和3年夏までササバモが水底に活着していました。

残念ながら令和3年10月にはどちらのゲージの水草も全て消失してしまいました。原因は定かではありませんが、秋に水位が下がり、ゲージの下部隙間から流れ出したことなどが考えられます。

手賀沼に植栽するのはまだ早かったようです。来年度はミニ手賀沼で食害対策をしてみます。



令和3年7月17日手賀沼にゲージを設置



ゲージの周辺にもガシャモクを植栽しました

手賀沼ガシャモク通信 No.10

令和4年2月 日発行

手賀沼水環境保全協議会 事務局

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1千葉県環境生活部水質保全課湖沼浄化対策班

電話：043-223-3821 E-mail：suiho5@mz.pref.chiba.lg.jp

手賀沼ガシャモク通信は、「手賀沼にガシャモクとマシジミを復活させる会」の会報を再編集する形で平成24年まで9号発行されておりましたが、同会の解散に伴い長く休止しておりました。再開するにあたり、元手賀沼にガシャモクとマシジミと復活させる会 竹中会長、手賀沼ガシャモク通信を編集して下さった千葉県中央博物館 林科長に名称使用のご許可をいただきました。ありがとうございます。